

国指定天然記念物の大歩危峡を舟下り

吉野川上流の景勝地・大歩危峡が、平成26年3月18日、国の天然記念物に指定されました。2億数千年前の砂質片岩が侵食されてできた険しい峡谷は、まるで大理石の彫刻がそそり



エメラルドグリーンに輝く吉野川と峡谷のコントラストが美しい

りたっているかのようです。大歩危峡観光遊覧船は、この峡谷約2kmを30分ほどかけてゆったり往復し、ダイナミックかつ美しい自然の造形を間近に眺めることができます。ライオンの頭そっくりの獅子岩は必見。春は桜、夏は緑、秋は紅葉、冬は雪と、四季折々に違った趣を見せてくれます。峡谷を見下ろす景観が自慢の温泉や妖怪屋敷、祖谷のかずら橋など、上流はみどころいっぱいです。

DATA

住所 / 三好市山城町西宇1520 交通 / JR大歩危駅から車で約5分 乗船料 / 大人1080円、3才～小学生540円 運航時間 / 9時～17時の間、随時運航 休み / 年中無休、ただし増水・強風の場合は欠航 【問】☎0883-84-1211 (レストラン大歩危峡まんなか)

西日本最大級！川辺の朝市・とくしまマルシェ

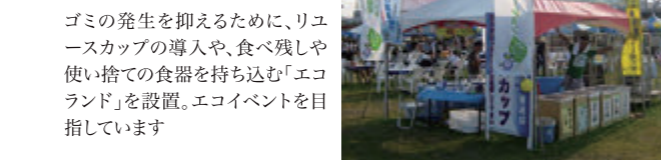
しんまちボードウォークに並んだ白いパラソルショップで、生産者自らが新鮮な野菜や果物、加工品などを販売する「とくしまマルシェ」。事務局が生産者一軒一軒に足を運び、厳選した自慢の逸品が並ぶ朝市です。毎月最終日曜に開催しており、その月のテーマに合わせて出店者や商品は変わります。「お客さん、これ、食べてみて」「これ、どうやって料理したらええん？」など生産者とのやりとりも楽しく、活気に満ちて、1万人以上が訪れる盛況ぶりです。とくしまマラソンや阿波おどりに合わせて開催されるほか、ネットマルシェも好評！

DATA

住所 / 徳島市東船場町・しんまちボードウォーク 交通 / JR徳島駅から徒歩約5分 入場料 / 無料 時間 / 毎月最終日曜日の9時～15時 (夏期はナイトマルシェ18時～21時も開催) 【問】☎088-657-0052 (事務局)



お洒落な雰囲気は、まるでフランスのマルシェ(市場)のよう！約80店が出店します



ゴミの発生を抑えるために、リユースカップの導入や、食べ残しや使い捨ての食器を持ち込む「エコランド」を設置。エコイベントを目指しています

こちらも恒例、吉野川横断スイミング。気合いの入ったウエアは水泳部でしょうか

広大な吉野川ピアガーデン&バーベキュー会場、川風が気持ちいい

実行委員長の中村英雄さんと、頼もしい右腕・新居 直さん

「みんなが協力してくれるけんやれる」と中村さん。実行委員の顔ぶれはNPO、環境団体、スポーツクラブなどさまざま。市からの予算はわずかなので、あとは、一口10万円の協賛金を企業から募ったり、中村さんを筆頭に実行委員はもちろん、出演者全員がバーベキューチケットを売って集客と資金集めに奔走します。「苦労も多いけれど、楽しいんですよ。しよる人が楽しくないイベントや町づくりはあかん」——楽しいことはみんなでもやろうと、源流域の嶺北からも参加してもらったり、最近では兄弟河川の利根川、筑後川との交流の場ともなっています。

フェス会場で会った中村さんは日焼けして真っ黒、少し痩せていて心配でしたが…。「平日平均二万歩あるくけん。夏はフェスもあるし、新町川もあるし、あちこちお願いにいかないかんし、痩せるんよ(笑)」やりたいこととがいっぱい、日焼けが似合う76歳。来年のフェスはどんなことを？「吉野川ポニー牧場をしたいんよ。乗って川沿いを散歩したら、子どもが喜ぶと思うんよな…。(以下略・笑)」

川と親しみ、川の魅力を
知り、川と遊ぶ。
徳島の夏を彩る
吉野川最大のイベント

吉野川フェスティバル

「みんなが協力してくるけんやれる」と中村さん。実行委員の顔ぶれはNPO、環境団体、スポーツクラブなどさまざま。市からの予算はわずかなので、あとは、一口10万円の協賛金を企業から募ったり、中村さんを筆頭に実行委員はもちろん、出演者全員がバーベキューチケットを売って集客と資金集めに奔走します。「苦労も多いけれど、楽しいんですよ。しよる人が楽しくないイベントや町づくりはあかん」——楽しいことはみんなでもやろうと、源流域の嶺北からも参加してもらったり、最近では兄弟河川の利根川、筑後川との交流の場ともなっています。



真夏の三日間、吉野川橋のたもとがレジャーランドに変身する



2日目の朝は吉野川クリーンアップ大作戦。ボートも出動して徹底的に！

徳島の夏は阿波おどりと吉野川フェスティバル——と言っても過言ではないのでは？

吉野川グラウンドを中心に河口二帯で3日間にわたって繰り広げられ、約5万人が訪れる吉野川最大のイベントです。もともとは平成元年(1989)に徳島市制百年記念イベントのひとつとしてスタートした吉野川フェスティバル。初年度は市が二億円の予算で、有名歌手のコンサートなど華々しく開催しました。ところが、6〜7年たつと予算も減り、参加者も減少し、開催が危ぶまれる状況に。そんな中、「吉野川河口で大きなイベントをやることによって、流域全体が活性化される。続けなければ」と、中村英雄さん達「新町川を守る会(現在はNPO)」がフェスティバルの運営を引き継ぎました。

予算がないから歌手やタレントは呼べない。でも、その方がいい。「川が主役になるイベントにしよう」と内容も一新しました。ライブや阿波おどり、干潟観察会、吉野川横断スイミングやウインドサーフィンなどのウォータースポーツ、たぐさんの屋台やブース、特設ビアガーデン&バーベキューと水辺のアクティビティがぎゅっしり！ 期間中は毎夜、水上から1000発の花火が打ち上げられます。2日目の早朝に行われる「吉野川クリーンアップ大作戦」もすっかり定着しました。まさに「川と親しみ、川の魅力を知り、川と遊ぶ3日間」です。



ボードに立ったままパドルをこぐ水上スポーツ「SUP(スタンドアップパドル)マラソンも今年で4回目。206艇が参加する日本選手権公認の競技大会です



↑県下初のフライボード体験は人気を集めました ←2010年にはこれも初となる「ウォーターゾープ」を開催。不思議な体験に人だかりができました



こちらも恒例、吉野川横断スイミング。気合いの入ったウエアは水泳部でしょうか



国土交通省の建設機械や災害体験なども人気。実はオトナが興味津々

